
いじっぱり

ゆき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
いじっぱり

【Nコード】
N6255Z

【作者名】
ゆき

【あらすじ】

小説っていうか、ただの私の愚痴です。

共感してくれたら、嬉しいです。

(前書き)

もうあんたのことなんてどうでもいいんだ。

別に誰と付き合おうが何しようが私には関係ないもんね。

あんたと付き合ったのも好きだったからじゃなくて、告られたから、いいかなって思っただけ。

そんなもんでしょ？まだ子供なんだし、おままごとみたいなお付き合いだっただし。

だからあんたにふられても、あんたに新しい人ができて、そんなに悲しくなかった。

なのになんであの子に「ごめんね。」とか言われなくちゃいけないの？

いやいやいや、別にいいから。別に傷ついてないから。

てか、何に対しての「ごめん」？

ちゃんと報告しなくて「ごめん」？

私が傷ついて「ごめん」？

ほんと止めてほしい。

あんた達に振り回されて傷つくほど私はやわじゃない。

だけど、悔しい。やっぱり悔しい。

私より先に新しい人みつけやがって。私に「ごめん」とか言いやがって。

しかも、動揺してる自分がいる。

その事実が一番悔しい。

私を憐れんだ目で周りに見てほしくない。

別に私はなんとも思っていないんだよ。どうでもいいんだよ。付き合いえてよかったじゃん。

だから私はそう言っで、いつもどうしてたか必死で考えながら、今日も笑顔過ごすんだ。

何事もなかったように、何も考えてないように。

（後書き）

読んでくれてありがとうございました。

共感してくださる人がいれば嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6255z/>

いじっぱり

2011年12月20日22時46分発行